2026年11月11日

各 位

会 社 名　テ　イ　カ　株　式　会　社
代表者名　代表取締役　社長執行役員　出井　俊治
証券コード：4027　東証プライム市場
問合せ先　取締役　上席執行役員　中村　弘
電 話 番 号　０６－６９４３－６４０１

2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の上方修正、期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2026年８月７日に公表いたしました2027年３月期（2026年４月１日～2027年３月31日）の第２四半期（中間期）の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じました。また、最近の業績動向を踏まえ、通期の連結業績予想並びに期末配当予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

１．業績予想値と実績値との差異及び業績予想の修正

（１）2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異について
（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	１株あたり中間純利益
前回発表予想（Ａ） （2026年８月７日 公表）	百万円 29,500	百万円 1,800	百万円 2,100	百万円 1,400	円 銭 61.32
実績値（Ｂ）	33,905	3,199	3,558	2,468	109.21
増減額（Ｂ－Ａ）	4,405	1,399	1,458	1,068	－
増減率（％）	14.9	77.7	69.5	76.3	－
（ご参考）前期実績 （2026年３月期第２四半期）	27,056	1,407	1,561	1,047	45.88

（２）2027年３月期通期連結業績予想の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株あたり当期純利益
前回発表予想（Ａ） （2026年５月13日 公表）	百万円 59,500	百万円 2,500	百万円 2,900	百万円 1,800	円 銭 78.84
今回修正予想（Ｂ）	68,000	3,300	3,700	2,500	109.50
増減額（Ｂ－Ａ）	8,500	800	800	700	－
増減率（％）	14.3	32.0	27.6	38.9	－
（ご参考）前期実績 （２０２６年３月期）	57,373	2,176	2,672	▲878	－

（3）差異及び修正の理由

前回発表予想においては、一部顧客の注文前取りに伴う反動減や、原材料価格の上昇による営業利益の減少を見込んでおりました。しかしながら、第２四半期においては、基盤事業の需要が想定を上回って推移し、特に汎用用途の酸化チタン及び界面活性剤において受注が好調に推移いたしました。これにより、当初想定していた反動減の影響は限定的となり、売上高は前回予想から差異が生じました。

利益面につきましても、原材料価格の上昇による影響はあるものの、生産性の向上及びコスト削減の効果、販売価格の改定により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも前回予想から差異が生じました。

通期業績予想につきましては、足元の受注状況が堅調に推移していることなどを踏まえ、下期の売上高及び各利益項目は期初予想を上回る見込みであります。その場合、下期には人財投資をはじめとする将来成長に向けた先行投資を予定しており、その影響を業績予想に織り込んでおります。

２．期末配当予想の修正

（1）期末配当予想の修正

	1株当たり年間配当金（円）		
	第２四半期末	期末	合計
前回予想（2026年５月13日公表）	40.00	40.00	80.00
今回修正予想		70.00	110.00
当期実績	40.00		
前期実績（２０２６年３月期）	20.00	40.00	60.00

（2）修正の理由

当社は、株主に対する中長期的な視点での安定した利益還元を経営の重要項目と認識しており、将来の成長投資や経営基盤強化に必要な株主資本の水準を保持しつつ、各期の業績等を総合的に判断して配当を実施することを基本方針としております。この基本方針に基づき、配当方針につきましては、DOE3%以上または配当性向100%のいずれか高い方を基準としております。

今回、通期業績予想の修正に伴い、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る見通しとなったことから、上記方針に基づき改めて配当額を算定いたしました。その結果、配当性向100%を基準として算定した配当額がDOE３%を基準とした配当額を上回る見込みとなったため、期末配当予想を前回予想から30円増額し、1株当たり70円に修正いたします。これにより、年間配当予想は1株当たり110円となる予定です。

３．その他

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、今後のさまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上